

製品名: EphA2/3/4 (リン酸化 Tyr588/596) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab04611

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	130kDa

抗原情報

遺伝子名	EPHA2/3/4 EPHA2; ECK; Ephrin type-A receptor 2; Epithelial cell kinase; Tyrosine-protein kinase receptor
別名	ECK; EPHA3; ETK; ETK1; HEK; TYRO4; Ephrin type-A receptor 3; EPH-like kinase 4; EK4; hEK4; HEK; Human embryo kinase; Tyrosine-protein kinase TYRO
遺伝子 ID	1969/2042/2043
SwissProt ID	P29317/P29320/P54764
免疫原	抗血清は、ヒト EPHA2/3 の Tyr588/596 リン酸化部位近傍の合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 556-605

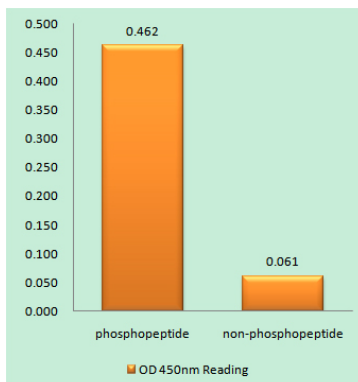
背景

この遺伝子は、タンパク質チロシンキナーゼファミリーのエフリン受容体サブファミリーに属します。EPH および EPH 関連受容体は、特に神経系において、発達過程の媒介に関与していることが示唆されています。EPH サブファミリーの受容体は、典型的には単一のキナーゼドメインと、システインリッチドメインおよび2つのフィブロネクチンタイプ III リピートを含む細胞外領域を有します。エフリン受容体は、細胞外ドメイン配列の類似性と、エフリン A およびエフリン B リガンドへの結合親和性に基づいて、2つのグループに分類されます。この遺伝子は、エフリン A リガンドに結合するタンパク質をコードします。この遺伝子の変異は、遺伝的に関連する特定の白内障疾患の原因となります。[RefSeq 提供、2010年5月],触媒活性:ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸。機能:エフリン A ファミリーのメンバーの受容体。エフリン A1、-A3、-A4、および-A5 に結合します。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。Tyr タンパク質キナーゼファミリー。エフリン受容体サブファミリー。類似性:1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。類似性:1つの SAM (無菌アルファモチーフ) ドメインを含みます。類似性:2つのフィブロネクチン III 型ドメインを含みます。サブユニット:SLA と相互作用します (類似性による)。INPPL1/SHIP2 と相互作用します。組織特異性:皮膚、腸、肺、卵巣など、上皮細胞の割合が高い組織で最も高く発現します。

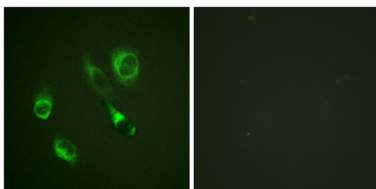
研究分野

軸索ガイダンス;

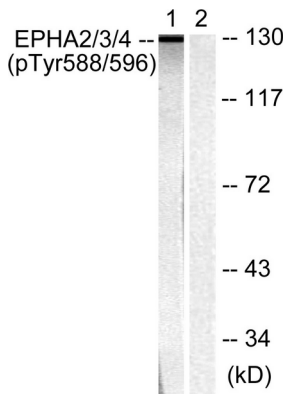
画像データ



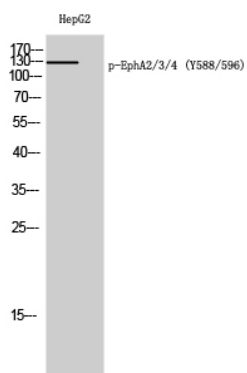
EPHA2/3 (リン酸化 Tyr588/596) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



EPHA2/3 (リン酸化チロシン 588/596) 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした画像です。



EPHA2/3 (リン酸化 Tyr588/596) 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 EphA2/3/4 (Y588/596) ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット解析